

## 2022 年度高校向け「文系チャレンジ講座」

目的 高校生向けに大学の学問を平易に紹介し、大学で学ぶ楽しさを伝える（入試広報とは一線を画します）。

受講形態と各回人数 遠隔 200人 対象学年 主として2年生

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250字程度）
1	5/18（水） 16.30-17.30 経済学部203号	<b>経済学部</b> 小笠原 悟	お金について学ぼう～お金は使うもの？貯めるもの？	「お金」にどのようなイメージを持っていますか？ある調査によると、日本人の多くは「お金」に対して「卑しい、汚いもの」という印象を持っているようです。でも、みなさんは普段「お金」を使っていますよね。みなさんの財布の中には、お札やコインが入っているし、最近では電子マネーという形でカードやスマホを使ってお金を支払い、モノやサービスを購入しています。また、「貯蓄」はいいけど「投資」はダメなの？「貯蓄」にしる「投資」にしる、経済活動には不可欠なものです。今回の「チャレンジ講座」では、お金の「いろは」を学びます。
2	6/15（水） 16.30-17.30 経済学部203号	<b>福祉健康科学部</b> 滝口 真	他者理解は自己理解～障害者差別解消法を通して～	私たちは与えられた生活環境の中で日々の生活をしています。当たり前の生活の中であって、地震、災害、コロナ感染、事故・・・等が生じることで、自由に機能している四肢、思考、記憶が一瞬に遮断されます。私たちが健康な心身で生活できていることは、実は当たり前のことではなく、むしろ偶然の中に存在していると考えた時、不自由動作や記憶低下に陥る可能性は誰にでも隣り合わせといえます。障がい者の生活の困難さは、将来の私たちの日常生活にも生じる可能性があります。障害者差別解消法をテーマとして共に学び合いたいと思います。
3	7/20（水） 16.30-17.30 経済学部203号	<b>経済学部</b> 松岡 輝美	持続可能な発展のためのサーキュラーエコノミー	サーキュラーエコノミー（循環型経済）とは製品、素材、資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、生産と消費における資源の効率的な利用を促進することによって資源利用に伴う環境への影響を低減し、廃棄物の発生ならびに有害物質の環境中への放出を最小限にする経済システムのことです。廃棄物を極力発生させない循環性の高いビジネスモデルへの転換は、事業活動の持続可能性を高め、中長期的な競争力の確保にもつながります。ICT（情報通信技術）をドライバーとして、どのように循環型の事業革新を実現していくか解説していきます。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要 (250字程度)
4	9/14 (水) 16.30-17.30 経済学部203号	<b>教育学部</b> 大谷由布子	The earlier, the better? 外国語学習はいつ始めるのがよい?	今から約50年前、レネバーグという人が「臨界期仮説」を唱えると、早期教育に社会の関心が高まり、日本でも幼児期からの英語教育熱の高まりが見られました。そもそも「臨界期」とは何でしょうか？ある一定の年齢を過ぎると、本当に外国語の習得は難しくなるのでしょうか？あるいは外国語の習得に適齢期はあるのでしょうか？この講義では、年齢と外国語習得の関係について、みなさんがよく知っている人たちの例をあげながら、一緒に考えたいと思います。
5	10/19 (水) 16.30-17.30 経済学部203号	<b>経済学部</b> 城戸 照子	世界史の貨幣の流れから何を学ぶか～信用の発明～	今日は、ヨーロッパの話を中心に、ローマ時代からの経済史上の「貨幣の機能」の問題を取り上げたいと思います。一般に貨幣には、交換手段、価値の尺度、価値の貯蔵手段という3つの機能があるといわれますが、なかでも交換手段としての貴金属貨幣には多くの制約がありました。貴金属節約や輸送の保安上の懸念、政治権者の都合などいろいろな理由で、造幣量は減ったり増えたりしますが、なかでも人間社会の最大の発明のひとつ、「信用」=〈Credit〉と貨幣使用の関係を考えます。
6	11/30 (水) 16.30-17.30 経済学部203号	<b>福祉健康科学部</b> 池永 恵美	心理学ってどんなもの？	人は誰でも自分の心や他人の心を知りたい、理解したいと思うものであり、心理学という学問に多少なりとも関心を持つ人は多いのではないかと思います。心理学の分野は臨床心理学、人格心理学、社会心理学、発達心理学、認知心理学、教育心理学…など非常に幅広いです。本講義では皆さんの日常生活の中で生じる様々な事象・問題と種々の心理学との関連性について紹介しながら、心理学という学問について概観したいと思います。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要 (250 字程度)
7	12/21 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	<b>教育学部</b> 安道百合子	古くて新しい古典文学の世界	古典文学には、現代とは時代も環境も異なる人々の考え方が反映されています。そこには、現代人の考え付かない価値観が埋もれていることも。『竹取物語』を知っていますか？ ああ、竹から生まれて月に帰っていくっていうあれね、と思ったみなさん。『竹取物語』に描かれた奇抜な描写や洒落っ気たっぷりの言葉遣い。中国やインドはおろか月世界まで見はるかす壮大なスケールにお気づきですか。ジェンダーバイアスを疑う現代人も真っ青の驚きに満ちた物語。古典は決して古くない、ということに気づいてもらえたらと思います。
8	1/25 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	<b>経済学部</b> 豊島 慎一郎	ボランティアと現代社会	世の中には、貧困や差別、環境問題など、私たち一人ひとりが何とかしたいと思っても、なかなか解決できないことが数多くあります。そのなかには、みんながそれぞれの生き方や生活を大切にしながら、お互いに協力し合って、地域や社会に積極的に参加すれば解決できることが身近にあるかもしれません。本講義では、現代日本におけるボランティアの現状を踏まえて、私たち一人ひとりが社会問題の解決に向けて自ら考え、行動する手がかりを探っていきます。